

創造都市とはなにか
～目指すべき姿と世界潮流～

佐々木雅幸
大阪市立大学都市研究プラザ所長

Master course of Urban Policy

創造都市 バルセロナ
— Universal Forum of Cultures 2004 —

- 創造都市—充满する現代芸術のエネルギー
ピカソ・ダリ・ミロ、ガウディの建築群
- アートの力を多面的に活用して都市田園を再生する

「創造都市」の時代へ

市民一人一人が創造的に働き、暮らし、活動できる都市

「創造都市・農村」とは
「住民の創造活動の自由な発揮に基づいて、
文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の革新的で柔軟
な都市経済システムを備え、
グローバルな環境問題や、あるいはローカルな地域社会の課題に対して、
創造的問題解決を行えるような『創造の場』に富んだ都市である」

拙著『創造都市への挑戦』岩波現代文庫

Master course of Urban Policy

創造都市 バルセロナ
— Universal Forum of Cultures 2004 —

都市再生のバルセロナ・モデル

- 「公」と「私」の柔軟な組み合わせによる都市再生
- 小さな「公共空間」を無数に作り出す
- 多文化共生の場の創出

創造都市 バルセロナ

— Universal Forum of Cultures 2004

- 無数のアートイベントと「グローバルな対話」
世界フォーラム「文化権と人間発達」

アマルティア・センAmartya Senの提唱する
発達可能性と多元的なアイデンティティ



ナント 音楽文化によるまちづくり

ラ・フォルジュルネ「熱狂の日」音楽祭

- ①子供から大人まで親しめる音楽祭
- ②1公演の時間を45分までに
- ③低料金のチケット価格で

1995年から地域密着の音楽祭として開始
パッケージ化して海外に輸出、2005年から 東京でも開催
2008年から金沢、2010年からびわ湖ホールでも開催



ナント 文化によるまちづくり

文化政策の刷新 意欲的な市長と辣腕の文化局長

- ①市民の芸術創造活動の重視
- ②芸術に親しむ多様な「場」の創造
- ③文化予算の増額

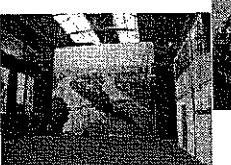
ビスケット工場跡を「文化創造の場」に転換
リュー・ユニークの実験



ナント 大道芸によるまちづくり

劇団ロワイアル・デュ・ルックスとラ・マシンを誘致

巨人、キリン、象、少女などの巨大人形を創作し、欧州各都市の市街地で
公演、各地で熱狂を引き起こす



工業都市からの脱皮を図るバーミンガム

- 「煙に汚れた重工業都市」
産業空洞化と郊外開発により、都心の衰退
- 「人間中心の都心再生」への転換
都心に文化施設、マイカー規制、運河の再生←グランドワーク
- コミュニティ・アートの展開→旧炭鉱地域での失業者



C.ランドリーの創造都市政策論

Landry, C., *The Creative City : A Toolkit for Urban Innovators*, London: Comedia, 2000

◆都市問題に対する創造的解決のため
の「創造の場」creative milieuをいかに
して作り上げ、いかにそれを運営してい
くのか、そのプロセスをいかにして持続
的にしていくのか?
セレンディピティが生まれる「場」、
クリエイティブラズが集まる「場」
をどうつくるのか?



工業都市からの脱皮を図るバーミンガム

- 工場街のカスター工場を「創造の場」に転換する
<http://www.custardfactory.com/>
- SPACE芸術創造事業推進協会により「生産空間」が
多様なアーチストの「創造空間」に

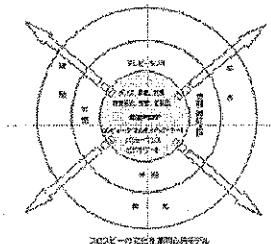


写真的引用:カスター工場WEBサイト
<http://www.custardfactory.com/>

創造産業による都市再生

■「創造産業」とは「個人の創造性、スキル、才能を源泉とし、
知的財産権の活用を通じて
富と雇用を創造する可能性を持った産業」(DCMS)

音楽、舞台芸術、映像・
映画、デザイナー、
ファッション、デザイン、
グラフト、美術品・アン
ティーク市場、建築、
テレビ・ラジオ、出版、
広告、ゲームソフト(双
方向の余暇ソフト)、コ
ンピュータ・ソフトウェア



クリエイティブ・ロンドンの成功と課題

1. 創造産業の振興
文化・メディア・スポーツ省と連携して音楽・映像・デザイン・13業種を創造産業として選定し、積極的な振興を図る「クリエイティブ・ロンドン」を推進し、雇用の拡大をはかる。
2. パブリックアートによる都市再生
ミレニアムにあわせて、古い火力発電所を現代美術館に転換し、さらに大英博物館やピクトリア・アルバート美術館の改修、セント・パンクラス駅改修やコベントガーデンの再生など、パブリックアートによる都市再生を展開。
3. クリエイティブ・パートナーシップ(CP)
アートマネージャーを学校に派遣し、教育と芸術との協働により「考えること」「学ぶこと」のあり方に変革をもたらすと共に、将来において創造産業に従事する人材を育成。

1. 都市ブランドの再確立

クリエイティブ・ロンドンの成功により、グローバル金融都市からグローバル創造都市へと転換。雇用面でも金融・製造業を追いつ抜く。2012年オリンピック誘致にあたり、パリと競って、勝利する原動力となった。

2. 衰退地区の再生とホームレスの自立支援

若手デザイナー・クリエーターが衰退地区に住み着き、当該地区的環境を改善し、創造的街区に転換させた。ビッグイシューの創刊やストリートワイヤオペラなどを通じてホームレスの自立を支援し、社会包摶を試みる。

3. 学習態度・教育環境の改善と学力の向上

学びを放棄したような子どもたちの学習態度が変わり、会話が生まれ、荒れた学校の教育環境の改善につながった。クリエイティブ・パートナーシップを経験した生徒の方が、経験しなかった生徒よりも英語、算数、理科の成績が向上した。

創造人材を受け入れる寛容性(R. フロリダ)

R.フロリダは、21世紀型都市の新しい担い手として「創造階級」の登場と勃興に注目し、そのエースと仕事およびライフスタイル、そして彼らが選択するコミュニティの特徴を分析し、創造階級が好んで居住する都市や地域こそ、経済的パフォーマンスが優れていることをわかりやすい具体的な指標によって示した。世界の都市政策に大きな影響を与えた彼の「創造性指数」は3つのT、すなわち、

- Talent 人材
- Technology 技術
- Tolerance 寛容性、雅量

「ゲイ指数」とはゲイの人々が隣に住んでいても排除せずに、受け入れる「寛容性」を意味している。すなわち、既成の価値観にとらわれない前衛的なアーティストのような人々を排除しないコミュニティこそ創造的で、ハイテク分野の先端的な人材が好んで住む社会的環境を特徴付ける

R. フロリダの創造階級論

R. Florida, *The Rise of the Creative Class* 2002
現代経済の担い手として「創造階級」の登場と勃興に注目し、そのエースと仕事およびライフスタイル、そして彼らが選択するコミュニティの特徴を分析し、創造階級が好んで居住する都市や地域こそ、経済的パフォーマンスが優れていることを「ハイテク指標」と「ゲイ指標」の相関で示す。

- 「超創造的中核」①コンピュータ・数学、②建築・エンジニア、③生命・自然科学および社会科学、④教育・訓練・図書館、⑤芸術・デザイン・エンターテイメント・スポーツ・メディア
- 「創造的専門職」①マネジメント、②ビジネス・財務、③法律、④保険医・技師、⑤セールス・マネジメントの各専門職種

創造都市・サンフランシスコ

ゲイがもたらす創造性と寛容性

- Yerba Buena Center for the Artsを核とした創造産業の集積クラスター マルチ・メディア・ガルチ
- 無名のアーティストらを支援する多様なネットワーク
- ホテル税を財源としたアーティスト支援



写真の引用：“Yerba Buena Center for the Arts”のWEBサイト
<http://www.yerbabuenaarts.org/splash.html>



ユネスコ 文化多様性条約と創造都市ネットワークの提唱

グローバル化が引き起こす文化の画一化を危惧するユネスコは2001年に「文化多様性に関する世界宣言」を採択し、2005年には「文化多様性条約」を採択した。

さらにこの流れの中で、2004年、ユネスコは文化多様性に向けたグローバル・アライアンスの枠組みの中に、創造都市ネットワークという都市間の戦略的な連携のためのプログラムを新たに加えることとした。

なぜ「都市」なのか。その主な理由として、

- ① 都市には創造産業を担う文化的活動が集約されている。創造的活動、製品等の製作、供給という一連の行動が都市の中で起こる。
- ② 都市は場所を提供しているという理由により、創造活動を行う人同士を結びつける潜在的な可能性を持っている。また、都市同士が結びつくことにより、より世界的な規模での連携の可能性も生まれてくる。
- ③ 都市というサイズは、内部の文化産業に影響を与えるには適当な小ささであり、また、国際的な市場への出口になるには十分大きい。などが挙げられる。

ユネスコ創造都市ネットワーク会議 2011in Seoul



UNESCO

創造都市のグローバルネットワークの提唱(2004)

このネットワークは創造的文化産業の振興に関する経験、ノウハウ、技能訓練と技術を共有しうるように、創造都市の連携を広げる。ネットワークへ加入した都市は、卓越したセンターとして継続した役割を確実に果たして、自らの創造的経済を育てるだけでなく、他の（特に発展途上国）都市を支援する計画に加わる。

7分野、現在34都市：エディンバラ（文学）、ボローニャ（音楽）、ベルリン（デザイン）、モントリオール（デザイン）、ポバヤン（食文化）、ブエノスアイレス（デザイン）、サンタフェ（フォークアート）、セビリア（音楽）、アスワン（フォークアート）、グラスゴー（音楽）、リヨン（メディアアート）、メルボルン（文学）、神戸（デザイン）、名古屋（デザイン）、金沢（クラフト）、上海（デザイン）、ソウル（デザイン）、利川（クラフト）、全州（食文化）など

UNCTAD 創造経済レポート 2008 2010

「創造経済は、社会包摂、文化多様性、人間発達を促進しながら、所得と雇用を生み出す可能性を持っている。」

創造性、知識、情報へのアクセスは発展に向けた強力な推進力として認識されている。

創造産業は創造経済の中心であり、2005年には世界貿易の3.4%を占め、4,244億ドルに達しており、2000-2005年に年率8.7%の伸び率を示している。知的所有権は創造産業を資本化する上で、ますます重要性が高まっている。技術は創造経済におけるコンテンツの生産と流通に主要な役割を演じている。

<UNCTADによる創造産業の定義>

- ①創造性と知的資本を主要なインプットとする財やサービスの創造、生産及び流通のサイクルであり、②（アートに限定されることなく）知識ベースの活動と、貿易と知的所有権から潜在的な利潤可能性とのセットであり、③有形の財と、創造的なコンテンツと経済価値及び市場目標をもつ無形の知的芸術的サービスからなり、④職人、サービス、産業セクターとの接点に立つ。

創造経済とは

生産システム	大規模生産 トップダウン	フレキシブル生産 ボトムアップ
消費	非個性的大量消費	個性的文化的消費
流通・メディア	大量流通 マスメディア	ネットワーク ソーシャルメディア
優位性	資産・土地・エネルギー	クリエイティブ人材 知識・知恵・文化
都市の形	産業都市	創造都市

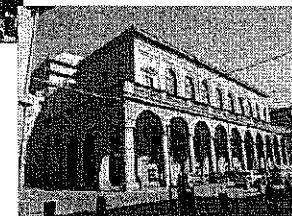
テアトロ・コムナーレ・ボローニヤ



ボローニヤ歌劇場

1763年開設、1981年改修

座席数1,000



ユネスコ音楽都市・ボローニヤ

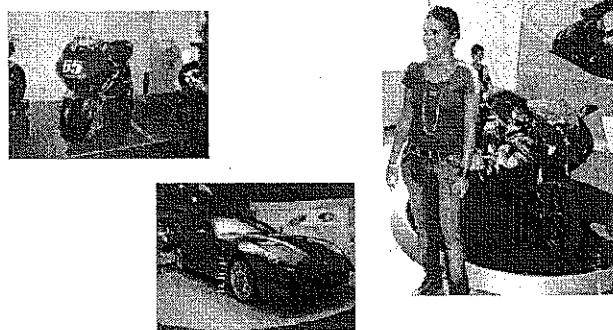
「創造都市」ボローニヤの挑戦

- 中小企業主体のフレキシブルなネットワーク型経済
- 職人企業を軸にした充実した支援システム
- 脱大量生産の「職人的ものづくり」
- 職人工房と町並み保存
- 芸術文化と福祉の担い手としての非営利組織(協同組合)
- 環境再生とサステナブル・シティ

職人のオペラ ボローニヤ



Ducatiの街 ボローニヤ



サンタフェ・アメリカ最初の創造都市

サンタフェ:クリエイティブ・ツーリズムの提唱

文化活動を通じてそこに住む人々と触れ合い、文化遺産やその土地の特性を学び、創造の体験と本物の価値を重視する新たな観光の形



400年の歴史を誇る、北米最古の都市。人口は6万5千人

であるが、8つの美術館、200を超えるアートギャラリーが

あり、米国、最大規模のアートマーケットをもつ都市でも

ある。

多数のアーティスト、音楽家、俳優、作家、ダンサーが活

動し、労働人口の8%という、小規模なまちにしては非常

に高い比率を占めている。

Master course of Urban Policy

7

ボローニャユネスコ音楽都市へ

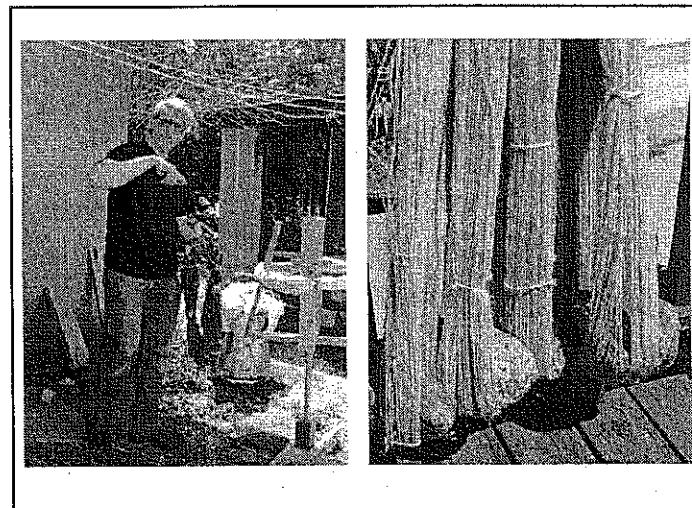
職人のオペラとオペラハウス

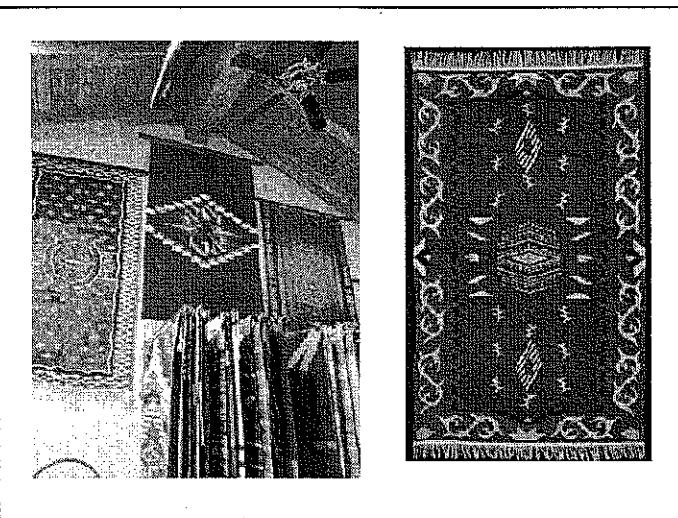
ベルディ・ロッシーニが活躍

ジャズ

現代音楽グループ

音楽博物館





日本の創造都市への多様なアプローチ

内発創造都市・金沢の挑戦

- 伝統的街並みと職人工房・伝統芸能
- 内発的発展がもたらした金沢経済の特徴
文化的生産の都市へ
- 文化の保存から創造へ
市民芸術村の試み
- 人間的規模の歴史都市を「創造都市」に
金沢創造都市会議

写真的引用:金沢市民芸術村のWEBサイト
<http://www.artvillage.gr.jp/index.htm>



文化庁長官表彰・文化芸術創造都市部門の創設 創造都市ネットワークに向けて

文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)

受賞都市一覧

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
横浜市(神奈川県)	札幌市(北海道)	東川町(北海道)	水戸市(茨城県)	浜松市(静岡県)
金沢市(石川県)	豊島区(東京都)	仙台市(宮城県)	南砺市(富山県)	仙北市(秋田県)
近江八幡市(滋賀県)	篠山市(兵庫県)	中之条町(群馬県)	木曾町(長野県)	越岡市(山形県)
沖縄市(沖縄県)	萩市(山口県)	別府市(大分県)	神戸市(兵庫県)	舞鶴市(京都府)
		十日町・津南町 (新潟県)		

Master course of Urban Policy

金沢創造都市会議の開催へ

▶金沢世界都市構想(1995年)

「地球的な規模で、小さくとも自らを主張しうる、独特の輝きを放つ都市」

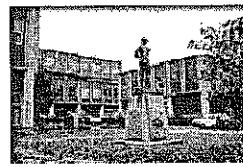
▶金沢創造都市会議(2001年から)

金沢経済同友会による提唱



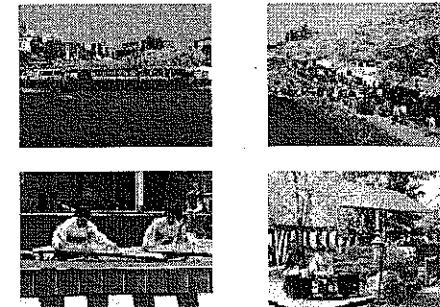
戦後・金沢の文化政策

- ①市立美術工芸大学の設立
- ②文化財保護
- ③伝統環境保存条例
- ④泉鏡花文学賞



市立美術工芸大学

浅野川園遊会に見る文化と環境



老舗・文学・ロマンの会の活動

戦後・金沢の文化政策 最近の特徴

- ①アンサンブル金沢(1988年発足)
- ②卯辰山工芸工房(1989年開設)
- ③都市景観条例・こまちなみ条例・用水保存美化条例



アンサンブル金沢



卯辰山工芸工房



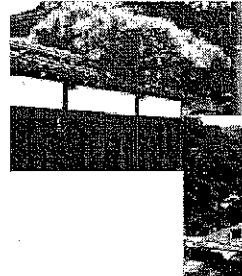
こまちなみ条例
(旧観音町)

都市景観保全とまちづくり

- 伝統環境保存条例(1968年)
 - ・区域を指定
 - ・土地建物の区画形質の変更を届出、指導助言、勧告
- 美しい景観の形成に関する条例(1989年)
 - ・景観形成基準を設定
 - ・景観審議会を設置
 - ・建造物等の高さ、色彩等を指導

都市景観保全とまちづくり

こまちなみ保存条例(1994年)



用水保全条例(1996年)



斜面緑地保全条例(1997年)

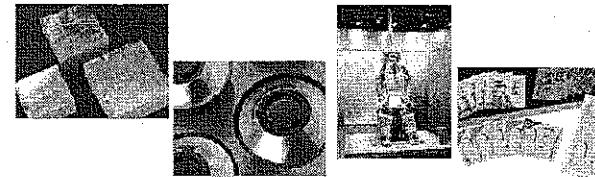


伝統産業のルネッサンス 金沢経済の新展開②

株式会社箔一

事業内容: <http://www.hakuhodo.jp/top.htm>

箔の生産から、箔工芸品のデザイン開発、製造、あぶらとり紙の商品製造販売

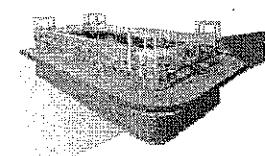
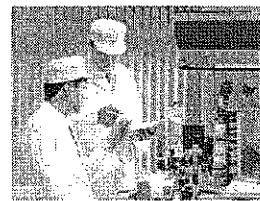


写真引用:株式会社箔一ホームページより

ニッチ・トップ ——小さな大企業とハイテク職人 金沢経済の新展開①

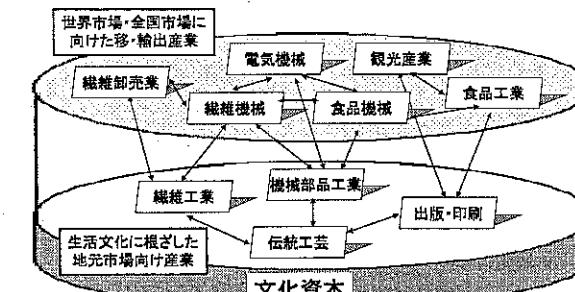
株式会社石野製作所

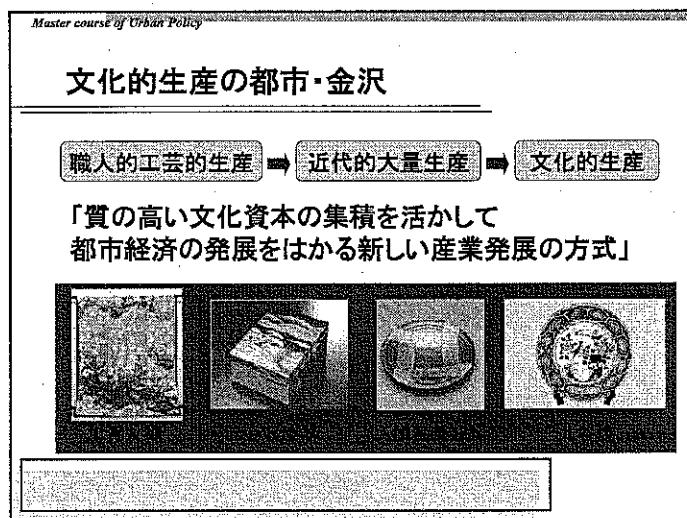
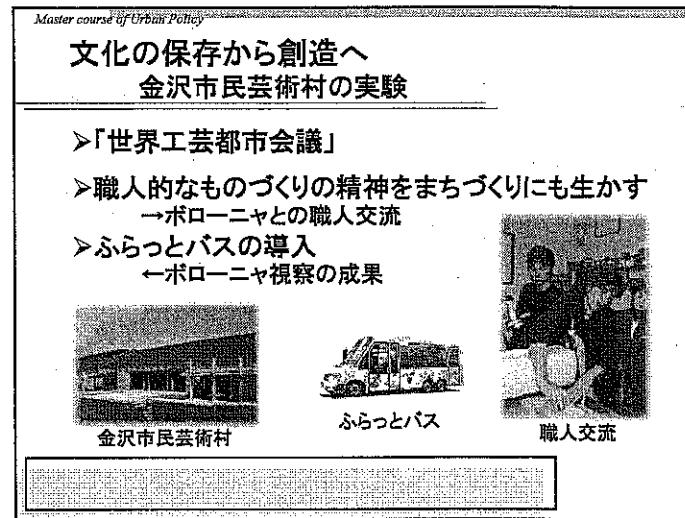
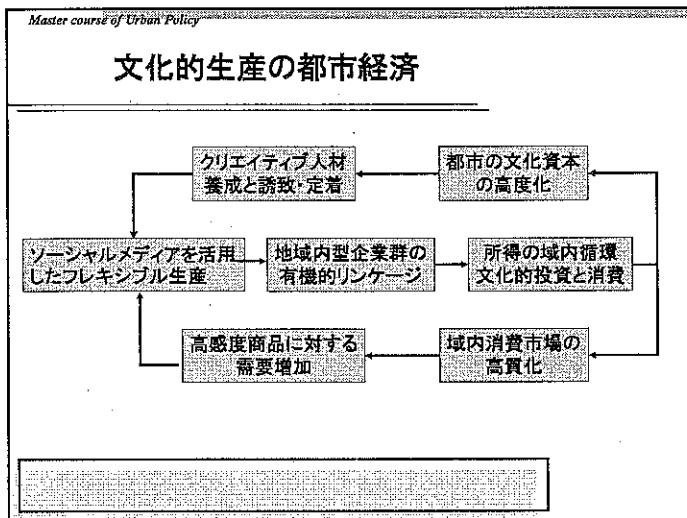
事業内容: <http://sun-net.com/>
寿司コンベア機全国納入実績No.1メーカー



写真引用:株式会社石野製作所ホームページより

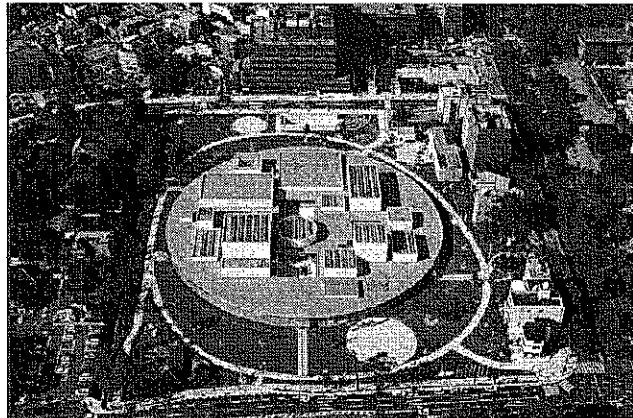
文化資本を活かした金沢産業の新展開





金沢21世紀美術館

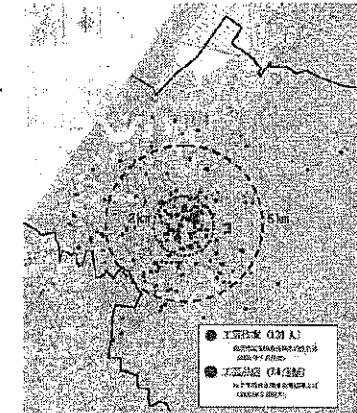
愛称「まるびい」



(2004年10月 開館)

金沢都心の クラフトクラスター

金沢城址を中心とした
工芸作家と工芸品店の分布
半径約2km：約6割
半径5km：約9割

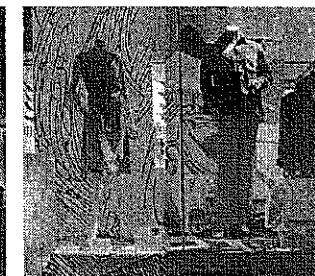


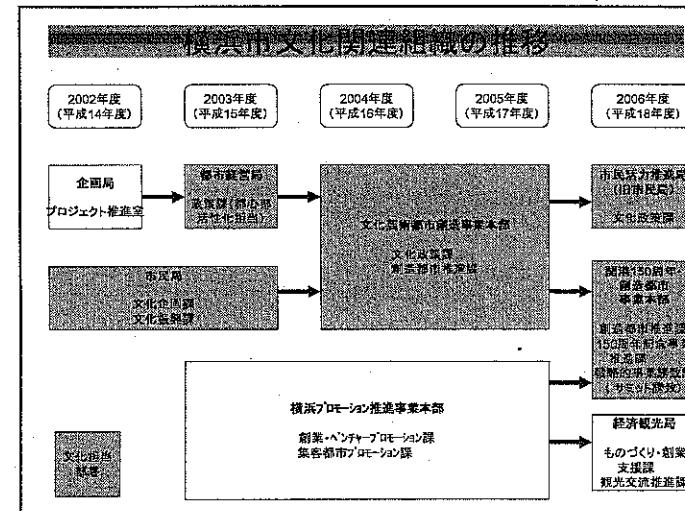
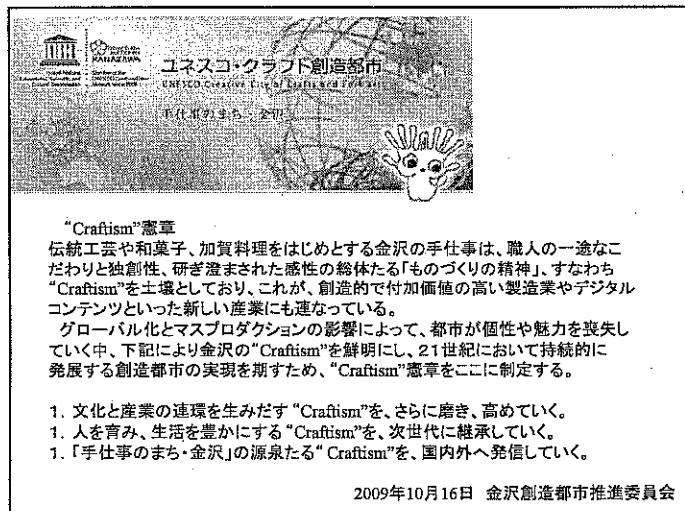
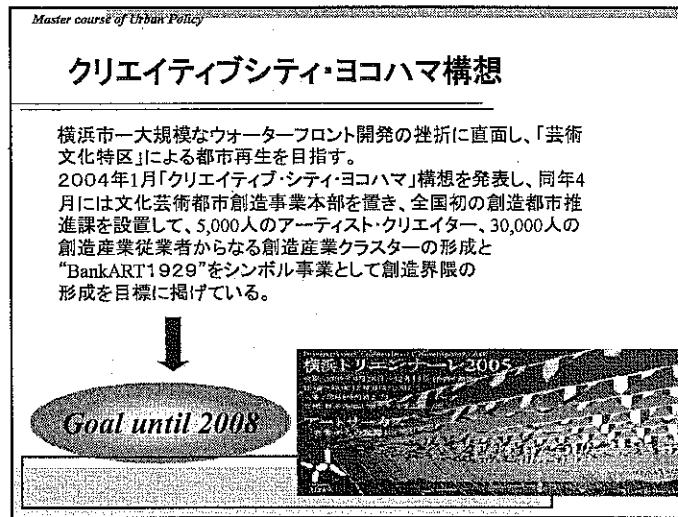
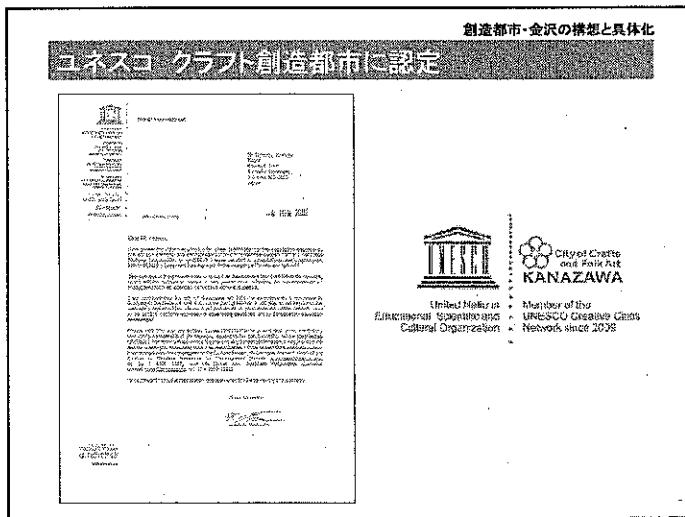
金沢市内主な博物館・美術館

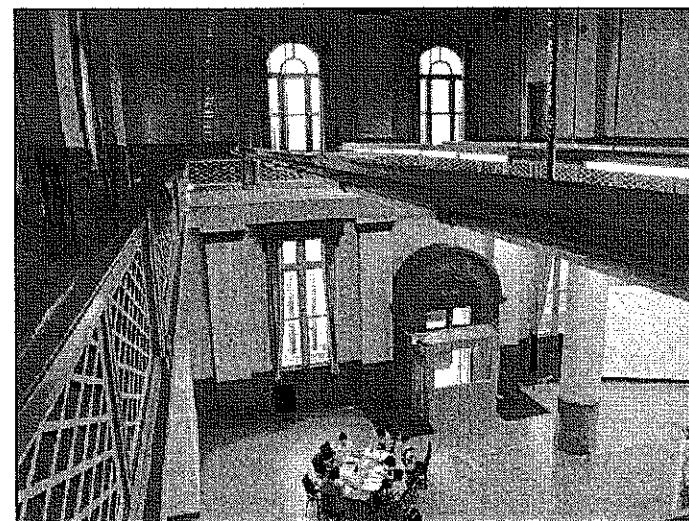
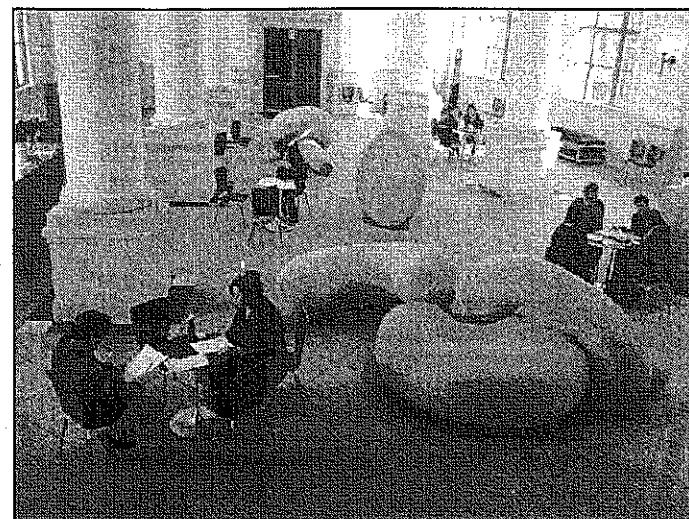
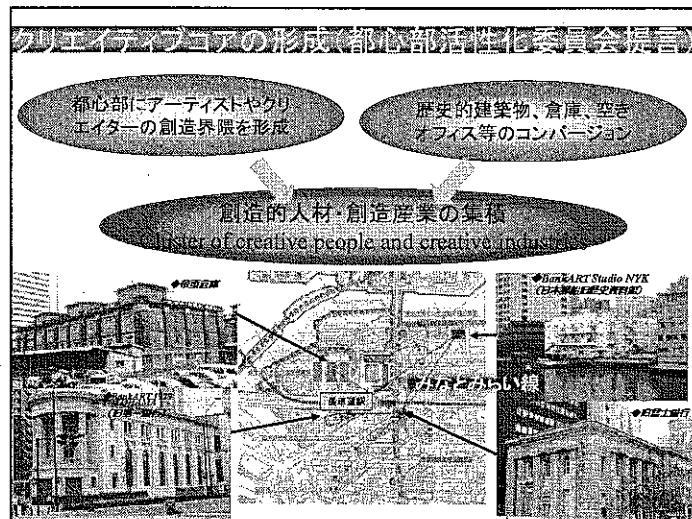
- 1 金沢市立中村記念美術館
- 2 金沢くしの博物館
- 3 金沢市立安江金箔工芸館
- 4 金沢ふるさと伝人館
- 5 瓜籠花紀念館
- 6 金沢豪音器館
- 7 前田土佐守安資刑館
- 8 室生藤星記念館
- 9 武家屋敷寺島観人跡跡
- 10 金沢21世紀美術館
- 11 石川近代文学館
- 12 石川県立美術館
- 13 石川県立歴史博物館
- 14 成巽園
- 15 藩老木多藏品館
- 16 石川県立伝統産業工芸館
- 17 大徳美術館
- 18 西田家庭園「玉泉園」
- 19 長町友禅館
- 20 金沢市西茶屋資料館
- 21 金沢市老舗記念館
- 22 金沢市足絆資料館
- 23 旧加賀藩士高田家屋敷跡
- 24 武家屋敷跡野村家
- 33 棚田秋雲記念館
- 34 金沢能楽美術館

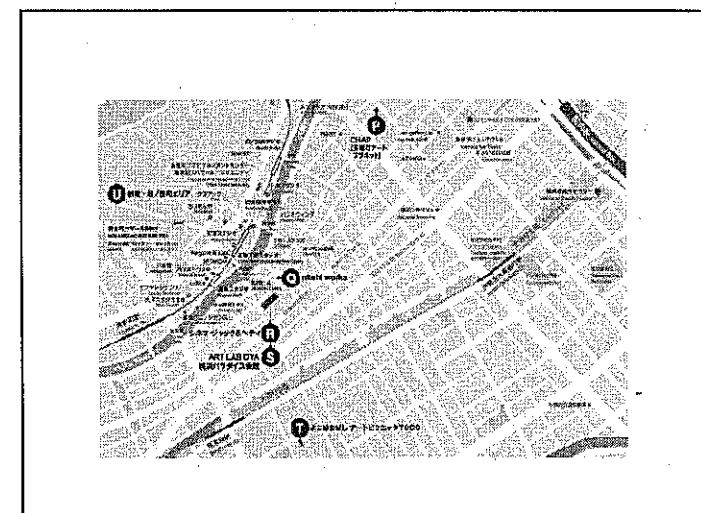
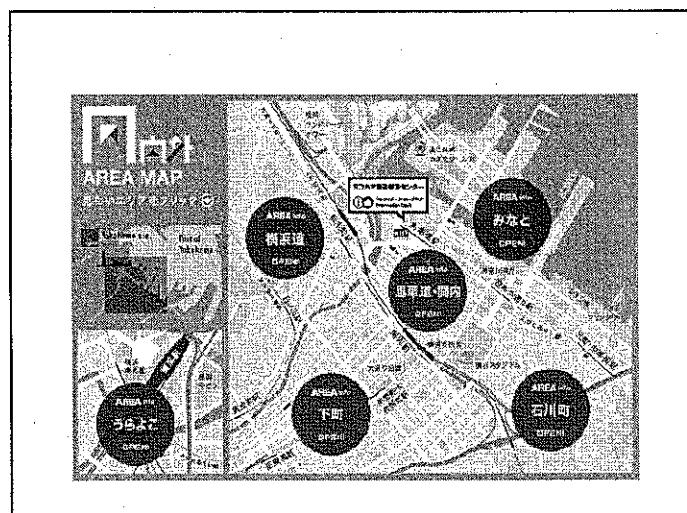
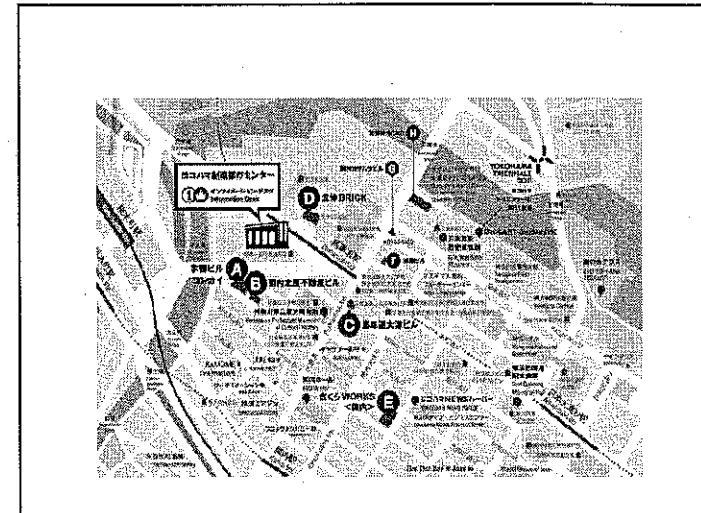
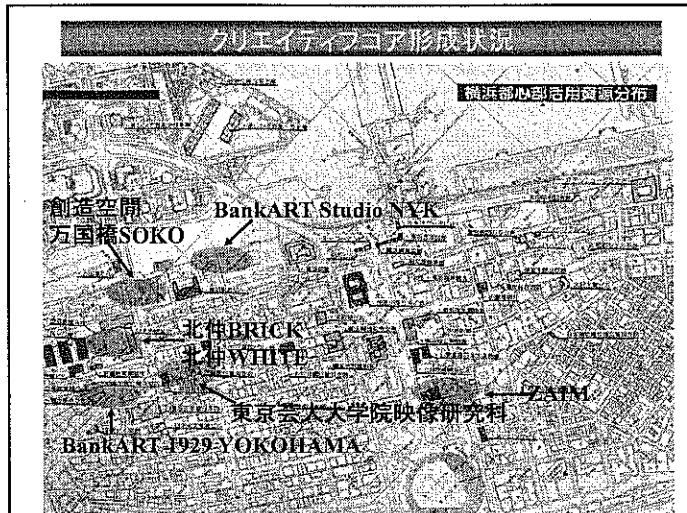
ライフファッショングラビューア
かなざわのみ2006

金沢ファッショングラビューア 創作セレクト展









クリエイティブ・シティ・ヨコハマの挑戦

横浜のケースで重要なことは、芸術文化の創造性を都市再生に生かす目的で、従来は縦割りであった文化政策、産業政策、まちづくりにかかる行政のセクションを横断的に再編する新組織である文化芸術都市創造事業本部と創造都市推進課を新設し、これを中核的推進組織としていることであり、NPOなどの市民の政策過程への参画を大胆に提案している点である。

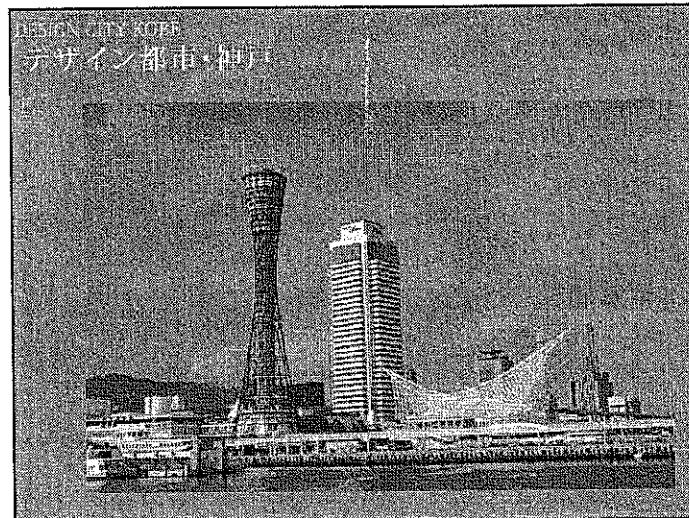
旧來の縦割りの行政機構とのコンフリクトは避けられないが、個人の創造性を生かす、組織の創造性を作り出してこそ、都市は創造性を取り戻すのであるから、「行政組織の文化」を創造的に改革してこそ、ヨコハマはクリエイティブシティに近づくのであろう。



デザイン都市・神戸

長崎10年を機に、2004年末に「文化創生都市」を宣言し、芸術文化を活かしていくことを進化するまちづくりを目指すことを内外に発信。2007年から、芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」を開催し、現代アートだけでなく、ハーフーマンス、伝統芸術、デザイン、ファンクションなど多種多様な芸術文化を取り上げるとともに、まちの資源の再活用、賑わいづくりや活性化に努めている。

2008年、ユネスコが提唱する創造都市ネットワークのデザイン分野への登録が認定され、ユネスコ創造都市ソーカーフムなど、ユネスコのネットワークに加盟する都市のリーダーやアーティストとの交流を推進。デザイン分野の都市による初の共同事業、国際ホステーング・アインションを実現させ、ユネスコ本部から高い評価を得るなど、グローバルな視野と卓の根に根差したローカルな視点での活動を推進している。



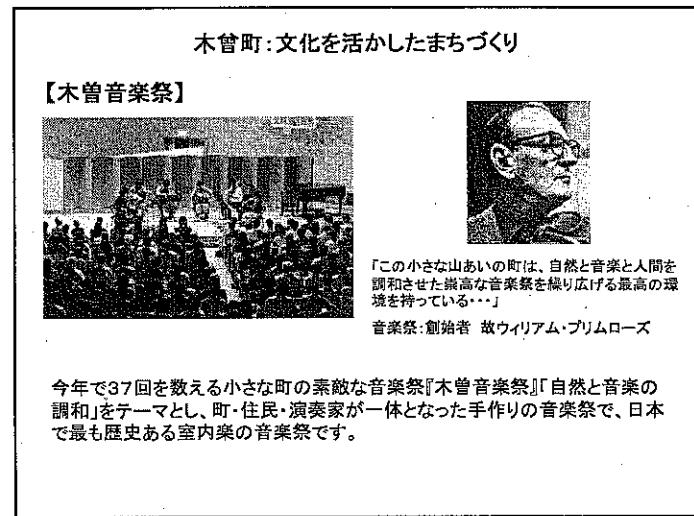
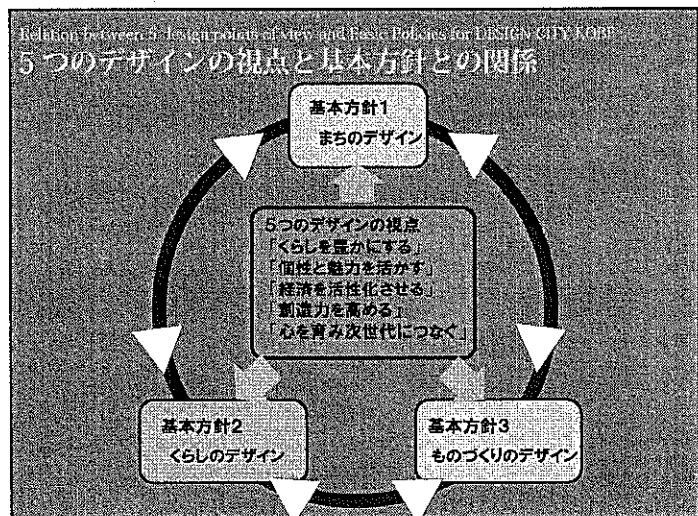
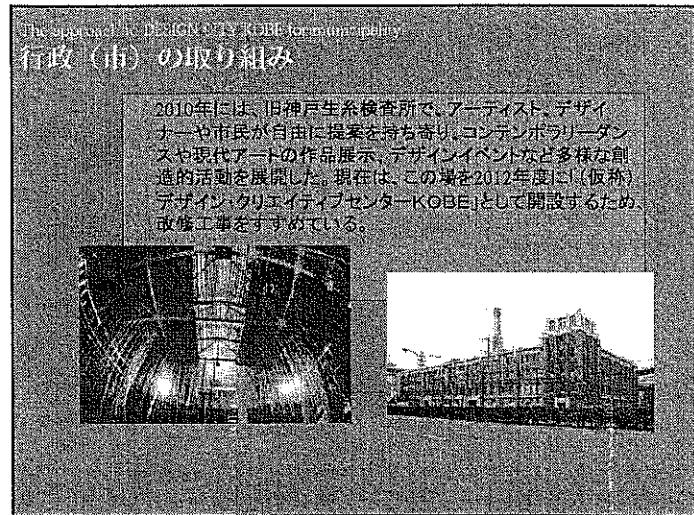
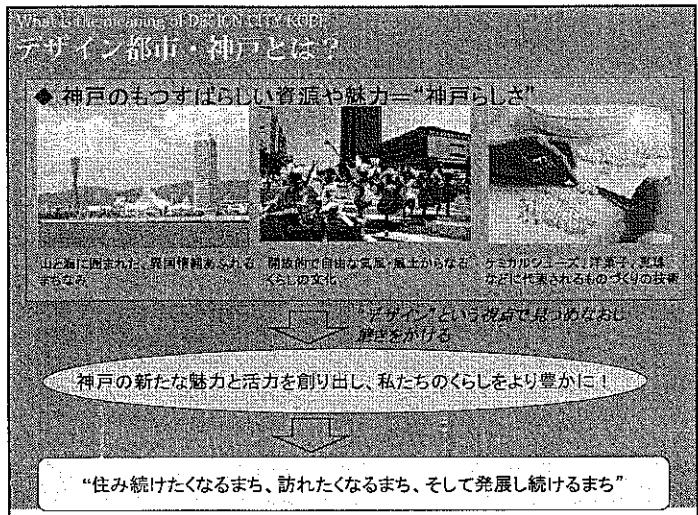
なぜ、デザイン？

- ◆ 神戸の誇りである資源・活力＝3つの「神戸らしさ」
 - ・山と海に囲まれた、異国情緒あふれる「まちなみ」
 - ・開放的で自由な気風・風土からなる「くらしの文化」
 - ・ケミカルシューズ・洋傘・真珠などに代表される「ものづくりの技術」

- ◆ おしゃれで洗練された神戸の吉らのイメージ
 - ・神戸には「デザイン」という視点がふさわしい！
 - ・“デザイン”は、「衣」「食」「住」「遊」の生活文化すべてに関係する

➤ 美しさや楽しさ、やすしさや快適さなど、心を満足させるものをバランスよく取り入れて新たな魅力を創っていくこと

➤ デザインは目に見える「形や色」だけではない
→「計画」や「考え方」まで



文化を活かしたまちづくり

【木曽学研究所】

王子江先生による
水墨画ワークショップ

第1回シンポジウム 佐々木雅幸先生
「木曽学のすすめ～イタリアに学ぶまちづくり」

これからの「地方のあり方」は、地に足が着いた内発型発展を目指すべきという町長の方針により、地域の価値を掘り起こす研究所として、平成15年に旧木曽福島町で発足しました。木曽学研究所の役割は、地域の価値を見つけ地域振興のきっかけをつくることです。「過去を学び、地域をみつめ、将来を創る」をモットーに町外者も含めて現在約50名の会員で活動しています。

またこの活動のなかから出会い、後に木曽町名譽町民になられた『海峡を渡るバイオリン』有名なバイオリン製作家陳昌茲さんは、ものづくりに励む人たちの精神的な支柱になっています。こうした町外者からの応援もまちづくりの貴重な要素です。

文化を活かしたまちづくり

【「日本で最も美しい村」連合】への加盟

連合の理念と活動
フランスの素朴な美しい村を紹介し、それを日本で最も美しい村活動に範をとり、矢張り最も美しい村となり日本全国の農山村の文化を守る運動を進めるため、村や町、地域の力とその資源を支え、協力する企業サポーターにより構成したNPO法人として平成17年10月に発足。

「日本で最も美しい村」連合(44町村)に加盟し、失ったら二度と取り戻せない農山村の景観や環境文化を守るとともに、地元の伝統文化を学校教育に取り入れる試みをしています。

また、「日本で最も美しい村」連合のサポーター企業等からの技術支援を受け、合同会社が事業主体となって特産品加工施設を整備するとともに、どうもろこし加工開発商品(ごーフレット・スープ)や大きな花豆を使った甘納豆、青大豆【芝霧】を使った豆腐などの加工食品・土産品を開発し販売を開始しました。

文化を活かしたまちづくり

【地域資源研究所】

地場産業の活性化

「すんき」に代表される木曽の発酵食品を地域ブランドとして保護し、さらに産業として興すため地域資源研究所を設立しました。例えばすんきの乳酸菌を科学的に分析し、その成分を抽出して新しい製品を創造し、地場産業として活かすきっかけづくりをお手伝いします。

現在、専門家1名(非常勤)と常勤スタッフ1名が任務にあたっています。

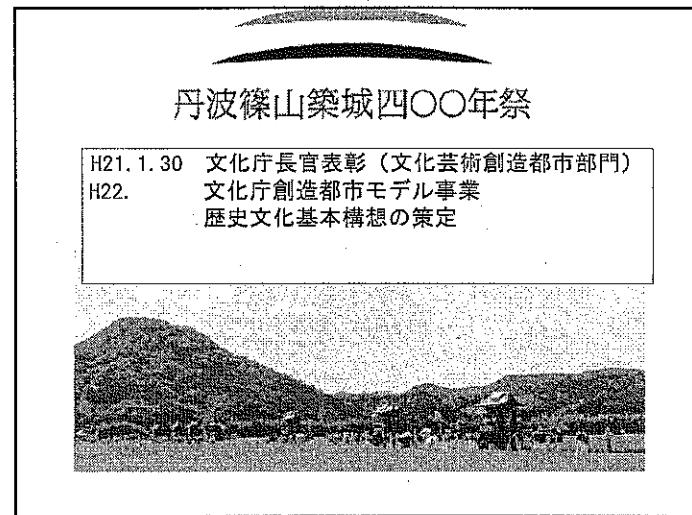
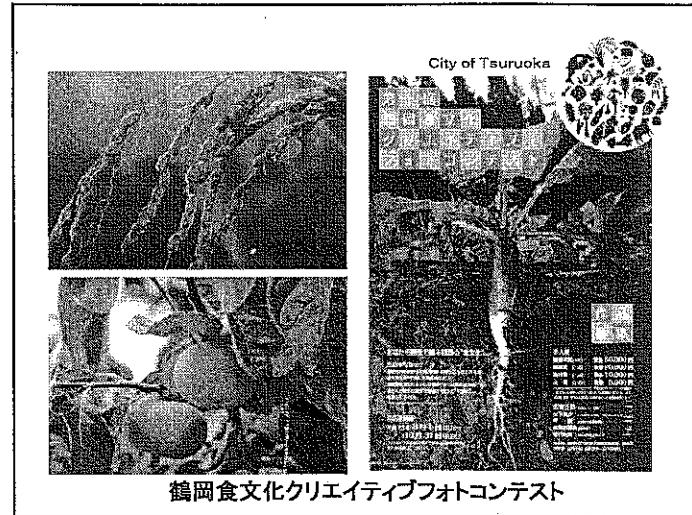
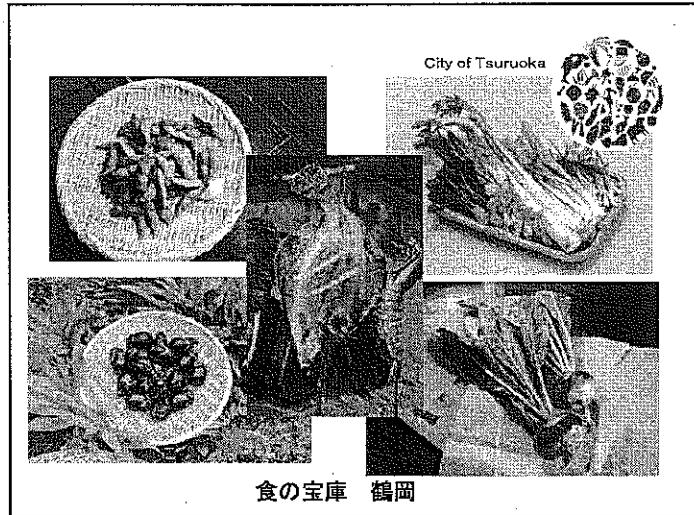
研究所の施設は、22年度に町が買い取った旧帝室林野局庁舎を利用します。

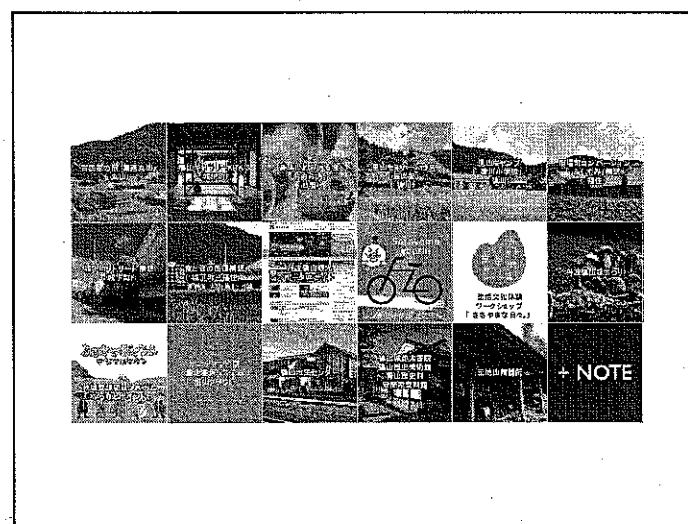
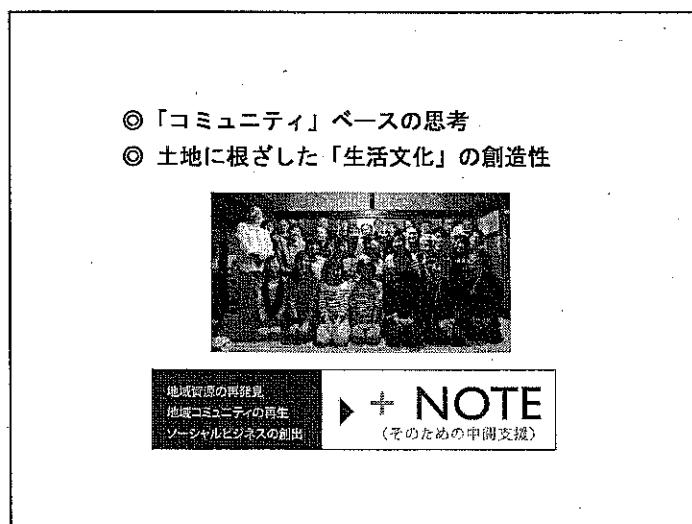
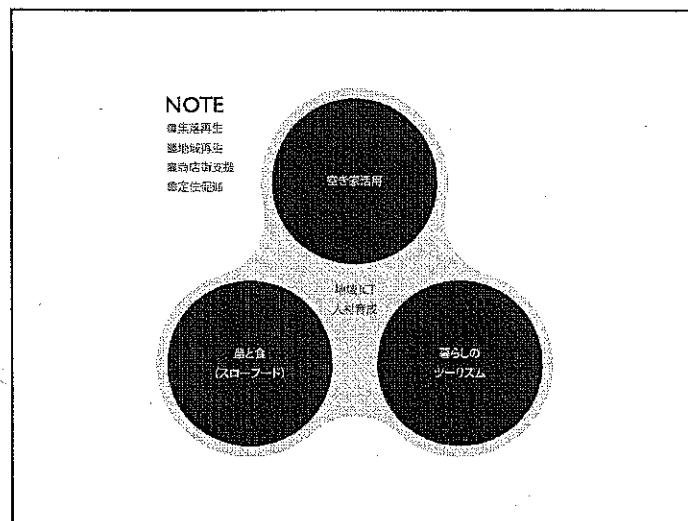
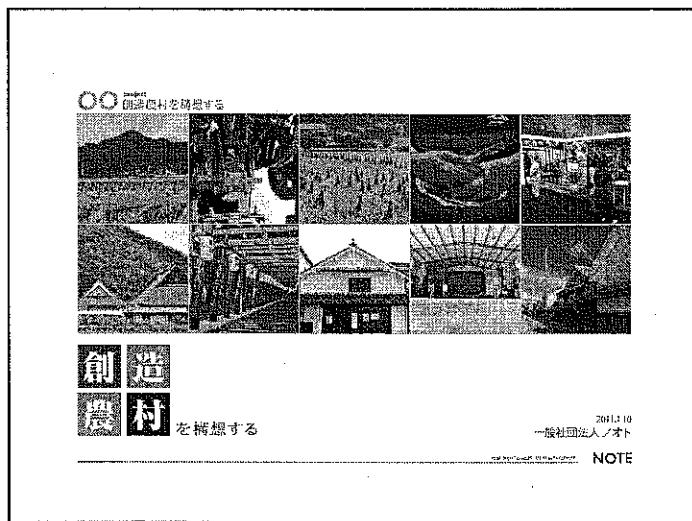
この施設は、昭和2年に建設された木造建築物で昭和のモダンな外観を呈しています。今後はクラフト工房などと一緒に地域資源を生かしたまちづくりの拠点となる予定です。

City of Tsuruoka

ラムサール条約湿地

鶴岡市：豊かな四季と海、山、川に囲まれた特異な地形





創造都市政策指標

1 創造的人材	芸術家、科学者、技術者、職人の数と割合と活動状態
2 生活の質	個人所得と自由時間の裕さ、文化・娯楽への支出; 都市環境とアメニティの豊かさ
3 創造産業	映像、音楽、メディアアート、工芸などの創造的文化産業の企業数と従業者数
4 創造支援インフラス トラクチュア	大学、専門学校、研究所、及び、劇場、図書館、美術館などの創造支援施設数と活動状態
5 文化遺産と 文化資本	公共部門に登録されている有形無形の文化財の数と保存活用状態
6 市民の活動力	NPOの数と活動状態、女性の政治参加の度合い
7 創造的ガバナンス	都市行政への能動的な市民参加とパートナーシップ、政策立案能力、財政自立度、文化予算の量と質など

創造都市ネットワーク日本(仮称)の設立に向けて

世界的な金融危機の連鎖と未曾有の大震災の中で、閉塞感の漂う日本社会を創造的に復興・再生することが、今、緊急に求められている。

こうした中で、文化芸術の持つ創造性を、新産業の創生や雇用創出、教育改革など多面的に活かした都市と田園再生の試み、すなわち、創造都市や創造農村をめざす多様な取り組みが着実に広がり、全国的な連携に向けて大きく動き始めている。

一方、目を世界に転じると、ユネスコが提唱した創造都市ネットワークが欧州、北米から、アジアに広がりを見せており、多様な文化創造産業の振興により、人間発達と社会包摶をめざした都市のグローバルな連携が広がっている。

これらの国内外の創造都市に向かう流れを、より広く、より大きくしていくために相互の交流・連携を促進するプラットフォームとして、以下の内容から成る「創造都市ネットワーク日本(仮称)」の設立が緊要となっている。

1. 創造都市ネットワーク日本(仮称)は、創造都市をめざして、NPOや経済団体、専門家、市民と連携した取り組みを進める自治体が基本的な構成員となり、創造都市サミット(首長会合)やネットワーク会議等を開催する。

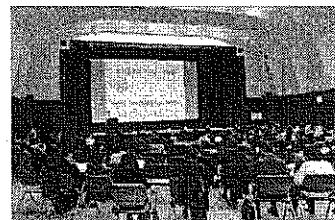
2. 創造都市の持続的展開にとって重要な、自治体職員やNPOなどの担い手の研修や人材育成、更には国内外の創造都市政策に関する情報収集や調査研究を行い、新たに取り組みを始める自治体に対する支援を行う。

3. 海外の創造都市との交流や、ユネスコなど国際的ネットワークとの連携を積極的に推し進め、とりわけ、平和で共生的な東アジアにおける創造都市の連携に貢献する。

本会議に参加した私たちは、早期の「創造都市ネットワーク日本(仮称)」設立に心から賛同し、積極的な参画を決意するものである。

2012年2月4日 創造都市ネットワーク会議参加者一同

創造都市ネットワーク日本 立ち上げに向けて



2月4日、文化庁で金沢、横浜、神戸、浜松、新潟など32自治体200名が参加してアジェンダを探査。
内閣官房、文化庁、経産省、総務省からも参加者

創造都市研究所 構想

創造都市ネットワーク日本と連携して、

①政策研究、②人材育成、③ユネスコなど国内外ネットワークのハブ機能を担う。

金沢市に財団法人として設置し、

2015年に向け、ユネスコの
世界的研究所として公認される
実績を積み上げる。



創造都市の実現に向けて

第1に、「芸術文化の創造性」を将来構想の中心とし、産業、雇用、社会制度、教育、医療、環境など多面的な政策分野にインパクトを与えるように位置づけ、文化政策を観光政策、都市計画、環境政策等と融合させて推進すること、とりわけ、市長のリーダーシップのもとに創造都市事業推進局が領域横断的に事業を進めることが重要である。

創造都市の実現に向けて

第3に、創造都市政策を持続的に進めるためには、行政内部の取り組みのみでは不可能であり、経済界・NPOなど広範な市民が参加する「創造都市市民倶楽部」などの草の根から創造都市づくりを進める組織との対話とその協力を得る事が不可欠であろう。

市民参加のもとで職員と市民の創造的な連携・協働（コラボレーション）が行えるようなシステムの構築を急がなければならない。

創造都市の実現に向けて

第2に、その一方で、創造都市政策の中軸となる都市文化政策を前進させることが重要である。産業政策や観光政策、都市開発行政に文化政策を従属させることなく促進する独立した機関として、専門家やアーティストの代表から構成される芸術文化委員会（アーツコミッション）の設置が望まれる。

「創造の場」をつくる3つのポイント

①創造性あふれる都市づくり

- 個人・組織・都市、それぞれの創造性を重視
クリエイターと企業や市民を結びつける
コーディネーターとプロデューサーの育成と
彼らのネットワークが重要な
となる。



「創造の場」をつくる3つのポイント

②誰もが創造性を発揮できる都市へ

- ・人間的信頼関係(ソーシャルキャピタル)を基礎にしたネットワークの結び目の機能を果たして草の根からの住民参加により社会的統合を実現している。



芸術家と市民の文化権を拡充し、人間発達をめざすNPOや非営利の市民セクターがその担い手となる

おわりに

- ・高松から瀬戸内へのネットワークの広がりが「あたらしい創造的な日本」をつくる
- ・創造都市ネットワーク<日本>の立ち上げへ

参考文献

- 拙著『創造都市への挑戦』(2012年)岩波現代文庫版
- 拙編著『創造都市と社会包摂』(2009年)水曜社
- 拙編著『価値を創る都市へ』(2008年)NTT出版
- 拙編著『創造都市への展望』(2007年)学芸出版社
- 拙編著『CAFE-創造都市・大阪への序曲』(2006年)法律文化社
- 拙著『創造都市への挑戦』(2001年)岩波書店
- 拙著『創造都市の経済学』(1997年)勁草書房

「創造の場」をつくる3つのポイント

③イノベーションとインプロビゼーションを巻き起こす

- ・固有の生活文化や技能の再創造
←多様なグローバル文化やハイテクとの出会いと融合による新しい産業の創造をめざす。
- ・伝統的街並み空間や近代産業遺産を保存し、再生利用することによって、地域固有の環境が生み出される
セレンディピティを育む都市へ

